参加
高校生
募集

公募要項

京都大学アカデミックデイ2018

ー「研究者と立ち話」企画への出展を募集しますー

2018年9月22日(土)10:00ー16:00　京都大学百周年時計台記念館

アカデミックデイってなに？

「京都大学アカデミックデイ」は市民や研究者、文系、理系を問わず、誰もが学問の楽しさ・魅力に気づくことができる「対話」の場となることを目指して2011年度から実施しているオープンなイベントです。昨年は京都大学から212名の研究者、高校から1組の出展があり、408人の来場がありました。

要 旨

京都大学では「国民との科学・技術対話」を促進するため、京都大学アカデミックデイを開催しています。この場を通じ、未来を担う高等学校や高等専門学校の皆さまにも学術研究に関する対話への挑戦を喚起します。アカデミックデイの企画趣旨にご理解ご賛同いただき、「研究者と立ち話」※の出展へのご応募をお待ちしています。理系分野だけでなく、国語や社会など文系、音楽や美術など芸術系のテーマなど幅広い分野からの応募を歓迎します。

※「研究者と立ち話（ポスター／展示）」ってなに？

自らの研究活動をポスターや実物展示などを使って、京都大学アカデミックデイの来場者に説明し、意見交換をするアカデミックデイのメイン企画です。

テレビや新聞を通じて、町づくりや災害など身近な問題から、気候変動や宇宙のことなど遠大な課題まで、様々な情報が毎日どんどん伝わってくる昨今。大学所属の研究者が解説をするのもよくみかけます。そんなとき、疑問が湧いたり、こんな風に思うんだけど、なんてことはありませんか。京都大学アカデミックデイでは本学研究者との直接対話を通じて、研究者ではない方々に研究活動の成果だけでなく、研究をする人（研究者）や研究のプロセスを伝えます。さらに、研究者でない方々からの意見や対話をきっかけに、研究者が自分の研究の意義を捉えなおし、研究活動に反映させることを目的のひとつとしています。

応募条件

下記の条件をすべて満たしてください。

- 高等学校・高等専門学校に所属する生徒/学生・先生のグループ。
- 代表者は先生１名とし、グループには必ず先生を含んでください。
- 京都大学吉田キャンパスでのアカデミックデイに当日来学して来場者と対話を実施できるチーム（チーム全員が当日参加できなくても担当の先生を含む最大６名程度でブースを担当して頂きます）。
- 応募フォームは全ての欄を記載してください。
- 応募・参加費は無料です（交通費や昼食代、展示にかかる費用は参加者で負担してください）。

申し込み方法

京都大学学術研究支援室のWebサイトよりお申し込みください。

アカデミックデイ出展応募用Webページにアクセスし、応募フォームをダウンロードいただき、必要事項を入力のうえ、メールで応募してください。応募を受付しましたら、こちらからメールをお送りします。

http://www.kura.kyoto-u.ac.jp/event/120

参加申込締切日：2018年7月12日(木)

審査について

審査方法

応募者多数の場合は、京都大学アカデミックデイ事務局で選考を行います。自由な発想に基づくオリジナルな研究であることと、研究を介したコミュニケーションへの意欲の高さを重視します。また採択テーマは分野が偏らないように配慮する場合があります。

スケジュール

①応募フォームにて公募受付開始　６月１日(金)
②応募締切　７月１２日(木)
③審査期間　７月末まで
④ WEB上にて採択グループを掲示　８月上旬
⑤採択グループにメールにて出展手順等について通知　８月上旬
⑥出展詳細開示、各自準備期間　８月中旬以降～９月２１日(金)
⑦アカデミックデイ当日　９月２２日(土)

出展について

- 応募の中から最大３校を選考します。
- 申請書１枚につき出展テーマ１つを記載して下さい。（テーマ数は１校あたり最大３つまで応募可。テーマごとに審査・採択します。）
- 展示ブースの概略と使用方法は以下のとおりです。
  パネルサイズ：幅1800mm×縦2100mm、実効面積：幅1800mm×縦1200mm※
  ※A0またはB1サイズのポスター２枚分を貼ることのできるサイズです。
  机(幅1800mm×高さ700mm×奥行600mm)×１台
  電源は事前申し込みが必要です（採択後に出展要項をお送りします）。
  ポスター以外にも、研究について語りあうためのコンテンツ(実物、実験道具、写真、模型・・・etc.)をお持ちの方は、ご持参ください。ただし、展示ブースに収まる範囲でご計画ください。
- ９月２２日(土)10:00～16:00(お昼休憩、準備、撤収の時間を含む)の時間帯に、展示ブースにて、来場者とコミュニケーションを取っていただきます。

過去の様子

「研究者と立ち話(ポスター／展示)」のほか、「ちゃぶ台囲んで膝詰め対話(サイエンスカフェ)」、「お茶を片手に座談会(トークライブ)」、「研究者の本棚」の企画があり、京都大学の研究者と来場者がじっくり話をできるコーナーとなっています。

昨年の詳細はこちら　http://research.kyoto-u.ac.jp/academic-day/2017/

お問い合わせ　京都大学研究推進部「国民との科学・技術対話」担当(山下・近藤)
E-mail： kenkyu-taiwa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp　　TEL：075-753-2579、5659

※審査結果に関する個別のお問い合わせには応じられません。